

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	リハビリテーション医学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部	学期	前期	教室名	802
担 当 教 員	三 田 直 人				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院で5年間勤務。 主たる疾患として、リウマチ、脳梗塞、パーキンソン病、頸髄損傷、大腿骨頸部骨折などのリハビリテーションに従事。 資格:音楽健康指導士 準2級、地域音楽コーディネーター、認知症ケア指導管理士。				
《授業科目における学習内容》 目標①:講義内で提示される疾患の概要を知る事が出来る。 目標②:目標①で行われている作業療法を知る事が出来る。 目標③:基礎知識を増やす事で、基礎的な医学用語を知る事が出来る。 目標④:演習などを通して実際に作成などを体験することが出来る。					
《成績評価の方法と基準》 前期試験100%にて実施					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 作業療法技術ガイド第4版					
《授業外における学習方法》 代表的な疾患を知り、そのイメージを持ってもらう講義です。また疾患により、講義担当者が変わります。その為、講義伝達内容に差異が出る場合は、積極的に質問を行うなど、自己努力も併せてお願い致します。					
《履修に当たっての留意点》 上記に重複しますが講義者が変わりますので是非色々な教員の話聞いて頂きたいと考えています。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	オリエンテーション & パーキンソン病	教科書 講義資料	教科書P772～を一読して下さい。	
	各コマにおける授業予定	パーキンソン病の疾患イメージを付けるようにする。4大徴候など主要な症状に関する理解を行う。			
第2回	授業を通じての到達目標	神経症	教科書 講義資料	教科書P955～を一読して下さい。	
	各コマにおける授業予定	適応障害を含めた、心身不調を総称する疾患のイメージを持てるようにする。神経症患者の対応にて留意すべき点について学ぶ			
第3回	授業を通じての到達目標	認知症	教科書 講義資料	教科書P1033～を一読して下さい。	
	各コマにおける授業予定	4大認知症の種類とその違いについて理解する。また中核症状・周辺症状の違いを理解する。			
第4回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺	教科書 講義資料	教科書P811を一読して下さい。	
	各コマにおける授業予定	緊張性・弛緩性などの麻痺の出方の違いを知る。			
第5回	授業を通じての到達目標	脳性麻痺	教科書 講義資料	教科書P811を一読して下さい。	
	各コマにおける授業予定	正常発達で獲得できない発達内容が心身・社会においてどのような影響を受けるかを知る。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	統合失調症	教科書 講義資料	教科書P927を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	精神科における代表的な疾患として理解し、陽性・陰性における症状の出方の違い、対応の違いなどを理解する。		
第 7 回	授業を通じての到達目標	気分障害	教科書 講義資料	教科書P943を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	社会的にも増えている、最も身近な精神疾患のイメージを付ける。また基本的なうつ病・うつ症状などの違いについて理解する。		
第 8 回	授業を通じての到達目標	脳血管障害	教科書 講義資料	教科書P630を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	血管構造を知ること、特定の脳部位における損傷が起ると、どのような症状が出現するのかを理解する。随意性・不随意性などの言葉の意味をしる。		
第 9 回	授業を通じての到達目標	廃用症候群	教科書 講義資料	教科書P441を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	ロコモ・サルコペニアなど社会的に認知されている言葉の意味をしり、廃用症候群とは何かをしる。		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	心疾患	教科書 講義資料	教科書P1062を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	心臓の働き、心電図など代表的な心疾患の検査データの見方、疾患の特徴をしり、リハビリテーション訓練時における中止事項・休憩事項などをあわせて理解していく。		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	がん	教科書 講義資料	教科書P1108を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	腫瘍とは何かをしり、腫瘍が発生することによる身体・精神への影響を理解する、トータルペインなど人の痛みとは何かを併せて学習する。		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	呼吸器疾患	教科書 講義資料	教科書P435を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	呼吸機能の仕組みから、閉塞または拘束などの呼吸器疾患の症状の出方の違いを理解できるようにする。		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	リウマチ	教科書 講義資料	教科書P686～を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	痛みを伴う関節変形症状がどのように生活に支障をきたしているのかを理解していく。		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	脊髄損傷/頸髄損傷	教科書 講義資料	教科書P663～を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	脊髄の髄節応じて症状が出現するといった内容を解剖学ベースで理解することが出来るようにする。また髄節損傷に応じた生活様式にあり方を知ることが出来る。		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	骨折	教科書 講義資料	教科書P597～を一読して下さい。
	各コマにおける授業予定	骨折部位の名称を解剖学的知識に結び付けて理解することが出来る。骨折に対する癒合日数・リスク管理など最低限の対応を知る事が出来る。		